

| コード         | 名称      | 区分       | コード                    | 名称      |
|-------------|---------|----------|------------------------|---------|
| 事業名         | 公務災害補償費 | 会計       | 01                     | 一般会計    |
|             |         | 款        | 02                     | 総務費     |
|             |         | 項        | 01                     | 総務管理費   |
| 基本施策        | 対象外     | 目        | 01                     | 一般管理費   |
|             |         | 細目       | 105                    | 人事管理経費  |
| 行革大綱の重点事項番号 |         | 細々目      | 51                     | 公務災害補償費 |
| 担当部課        | コード     | 10300    |                        | 担当者氏名   |
|             | 名称      | 企画総務部人事課 |                        |         |
|             |         | 連絡先      | 22 - 9605<br>(内線) 2340 |         |

事務事業の概要 (Plan)

|           |   |       |
|-----------|---|-------|
| 対象(誰を、何を) | 公務災害対象事務補助員等  | ※対象件数 |
| 成果(どうする)  | 労働災害基金の認定対象外となるケースの災害補償を行うことで安心して就労できる環境を整備し、事務執行を円滑にすることにより市民サービスの向上を図ることができる。 |       |
| 根拠法令・要綱等  | 地方公務員災害補償法・伊賀市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び施行規則等                               |       |
| 開始年度      | 平成 年度   | 関連事業  |
| 終了年度      | 平成 年度   |       |
| H21 事業内容  | 療養補償費 3件(3名)  |       |
| 社会情勢の変化等  | 公務災害の認定については、市の判断の基準として地方公務員災害補償基金に認定診断を委ねることにしている。                             |       |

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

|              |    |
|--------------|----|
| 1 建設用地       |    |
| 2 建設面積(延床面積) |    |
| 3 規模・構造      |    |
| 4 総事業費       | 千円 |

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

|           |    |
|-----------|----|
| 1 運営主体    |    |
| 委託先       |    |
| 2 配置人員    | 人  |
| 3 年間運営費   | 千円 |
| 4 市内の類似施設 |    |

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

| 活動指標   | 指標名 | 単位 | 実績値 |     | 目標値 |     |
|--------|-----|----|-----|-----|-----|-----|
|        |     |    | H20 | H21 | H22 | H23 |
| 公務災害対応 | 目標  | —  | 0   | 0   | 0   | 0   |
|        | 実績  |    | 21  | 16  |     |     |
|        | 目標  |    |     |     |     |     |
|        | 実績  |    |     |     |     |     |

| 成果指標 | 指標名 | 指標設定の考え方 | 単位 | 実績値 |     | 目標値 |     |
|------|-----|----------|----|-----|-----|-----|-----|
|      |     |          |    | H20 | H21 | H22 | H23 |
|      |     |          |    | 目標  | 目標  |     |     |
|      |     |          |    | 実績  | 実績  |     |     |
|      |     |          |    | 目標  | 目標  |     |     |
|      |     |          |    | 実績  | 実績  |     |     |

| 投入コスト        | H20 決算 | H21 決算 | H22 当初予算 | H23 当初要求 |
|--------------|--------|--------|----------|----------|
|              |        |        |          |          |
| 直接事業費計(A)    | 236    | 122    | 2,100    | 2,100    |
| Aの財源内訳       |        |        |          |          |
| 国庫支出金        |        |        |          |          |
| 県支出金         |        |        |          |          |
| 地方債          |        |        |          |          |
| その他          | 0      | 0      |          |          |
| 一般財源         | 236    | 122    | 2,100    | 2,100    |
| 事業投入人件費(B)   | 0.1人   | 0.1人   | 0.1人     | 0.1人     |
| フルコスト(A)+(B) | 956    | 842    | 2,820    | 2,820    |

事務事業の評価(Check)

|     | 判断の基準(該当項目に○をつけてください)   | 備考欄(特記事項)           |
|-----|---|---------------------|
| 必要性 | 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業  | ○                   |
|     | 個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業         |                     |
| 有効性 | 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業                      |                     |
|     | 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業   |                     |
|     | 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 |                     |
|     | 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業   |                     |
|     | 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業   |                     |
|     | 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業             |                     |
|     | 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業                           |                     |
|     | 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業  |                     |
|     | 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業   |                     |
|     | 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】   |                     |
| 達成度 | 当初設定した計画を 100% 実施している。  | 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 |
|     | 予算の繰越の有無 無  | 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】  |
| 効率性 | 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。   |                     |
|     | 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。  |                     |
|     | 【事業名】   |                     |
| 効果性 | 受益者負担を求めることができる事業である。   |                     |
|     | 全体コストにおける負担構成は適正である。  | ○                   |
| 効果性 | コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。                                |                     |

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

|          |   |
|----------|---|
| 改善策      | 発生件数0件が理想であるが、公務災害発生時には迅速に対応するとともに、安全衛生週間などの機会に職場の安全対策の徹底を行う。 |
| 昨年度の取組状況 | 【状況】 計画のとおり進んでいる<br>【詳細】 職員公務災害見舞金は1名、災害補償給付金は2名に支給した。        |

今後の方向性(Action)

|                              |  |
|------------------------------|--|
| 担当課長氏名                       | 稲森 洋幸  |
| 事業の方向性                       | 【方向性】 現状維持<br>【理由】 労働災害への対応は事業主の責務であり、不測の事態に備えて一定の予算は必要である。                            |
| 現時点における課題、その他                | 公務災害の撲滅が最終的な目標であるが、そのためには職員個人の意識の高揚が課題であると考えられる。                                       |
| 課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする) | 全国安全週間、全国衛生週間や、安全衛生委員会の場合など、機会があるごとに執務上の安全に対して注意を喚起するとともに、公務災害が発生した際には、状況や原因等の情報共有を図る。 |